

16 市民協働による西海岸・里浜の保全活用 ～時空を超え未来につなぐ、古里の記憶～



1 社会資本の概要

対象社会資本の浦添西海岸地域は、地元住民の生活と自然海浜をつなぐ里浜であり、古来より海の彼方にあるというニライカナイへの祈りの場である地域でした。また、開発が進む沖縄本島中南部にあって、米軍基地・キャンプキンザーに接していることから、人工的な開発を免れ、自然の原風景を残す貴重な自然海浜となっています。令和4年9月には、大学

の調査研究により、新種の生物が確認されるなど、学術的にも、都市部近くにながら豊かな自然が維持されている海浜として注目されています。近年は、新たに西海岸道路が開通し、地域外の訪問客も多数訪れる観光地、景勝地にもなっており、その保存と利活用の両立の重要性が高まっている海浜です。



カーミージー浜



海没地区・カーミージー橋



サンエーパルコ前浜

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

地元の港川自治会活動として、相互交流と次世代の人材育成に取り組んできました。活動のさらなる展開のため、一般社団法人組織を設立し今日に至っています。自治会会員のみならず、様々な団体のボランティア参加による地域貢献活動を展開するため、各団体・行政との橋渡しをする中間支援団体としての役割を担っています。里浜ビーチクリーン

や小学生を対象とした体験学習を開催するほか、活動から得られた知見を踏まえ、地元浦添市における里浜条例の制定、同ガイドラインの策定に貢献、また、その他様々な行政主催会議の構成員として提言を行うなど行政との連携や、展示会等のイベントで広報活動を通じ、海岸の保全・利活用の在り方を発信しています。



日米合同ビーチクリーン活動



地元小学生向け環境学習



普及啓発イベントでの広報活動

3 活動の成果や波及効果等

年間7回、30～100名程のボランティア参加を得て、ビーチクリーン活動を行っています。また、総合学習の時間で、地元小学校の児童たちを対象に環境学習や体験学習を継続して実施しています。さらに、活動を通じて得られた知見を踏まえて、開催している環境学習セミナーや展示会には、相当数の方のご来場を頂いています。当海岸の保全・利活用への興味・関心の広がりを感じており、これまでの活動の手ごたえを感じているところです。



様々な世代による
ビーチクリーン活動



地域・行政の連携による
座礁クジラの運搬



カヌーの活用による
ごみ運搬・回収方法の実証



海からの手紙・アートで伝える
展示会2021、
参加者メッセージカード

喜びの声



受賞者

一般社団法人
うらそえ里浜・未来ネットワーク
代表理事
田邊 治通

コメント

当法人は、開発を免れ、ふるさとの原風景を残す浦添西海岸地域の保全・利活用をはかり、地域コミュニティのつながりの確保や担い手育成、地域外からの来訪者にも美しい里浜の海岸を愉しんでいただけるよう、様々な活動に取り組んできました。このたび、本賞を頂戴し、夢の実現に向け未来へ続くより魅力的な活動の創造や持続性確保、その先に見える自然の砂浜再生に市民と共に取り組んでいきます。

活動の内容

- ボランティアによるビーチクリーン活動
- 地元の子供たちを対象とした体験学習
- イノー海域でのカヌー体験
- 地域住民向け環境学習セミナー
- イベント会場での広報活動
- 行政主催会議への参画、提言
- 地域連携・ローカルルールづくり(案)の作成

活動の経歴

- 平成17年 地元港川自治会として活動を開始
- 平成31年 一般社団法人うらそえ里浜・未来ネットワーク設立
- 令和元年 めんそーれ沖縄クリーンアップキャンペーン表彰受賞
- 令和2年 沖縄県地域づくり団体表彰受賞

所在地 沖縄県浦添市港川、西洲

活動主体及び連絡先 一般社団法人 うらそえ里浜・未来ネットワーク
TEL:090-1875-8595

対象となる社会資本 浦添西海岸地域
(カーミージー浜～キャンプキンザー海没地区
～サンエーパルコ前浜)

